光明寺だより

第８３号
平成31年1月発行
眞言宗　光明寺
宇都宮市野沢町３４２
TEL　665－0545
FAX　665－5422

智山勤行式（No.14）

御宝号（ごほうごう）

南無大師遍照金剛（なむだいしへんじょうこんごう）

【口語訳】

真言宗をお伝えくださった弘法大師空海さまに帰依し、感謝することです。

【解　説】

「南無」とは心から信じ感謝すること、「大師」とは真言宗をお開きになられた、弘法大師空海さまのことです。弘法大師とは諡号（しごう）であり、お大師さまの功績を重んじ醍醐天皇から贈られた称号であります。

「遍照金剛」とはお大師さまが入唐（にっとう）し、師の恵果（けいか）さまから真言密教の法を受継がれたとき、この「遍照金剛」をお名前の一つとして贈られました。「遍照」とは仏さまの慈悲の光が、すべてのものに及ぶという意味があり、そして、その光は「金剛」ダイヤモンドのように堅固で輝きを失いません。これが「遍照金剛」の由来です。皆様が回忌法要の後に頂くお塔婆の裏側に真言、法要日、施主名と共に書かれています。

真言宗ではこの御宝号を、どんなときでも唱えます。お寺、仏壇、亡き人のためにも、幸せを願うとき、自身が苦しいとき、お大師さまはいつどんなときでもご宝号を唱えればあなたのそばにいます。仏さまの誓いを永遠に続けるというお大師さまの誓いを、私たちも自分の誓いとして共に進むこと。本当の幸せは、そこに開かれます。今年一年が皆さまにとって良い年でありますように、「同行二人」「南無大師遍照金剛」

※智山勤行式は、真言宗智山派がお檀家様向けに作ったお経本です。興味のある方はお寺にお声掛けください。

秩父三十四観音霊場第三回

大般若法要のご報告

毎年十一月八日に行う大般若法要、今年も大勢の方がお参りくださいました。

第一部午前十時からは恒例のコンサート、私の中学時代の同級生とその友人をメインに、毎年コンサートをお願いしています。今年はフルート奏者の西園文美さんにお越し頂きました。ヴァイオリン、フルート、ピアノ（キーボード）のアンサンブルに皆さん感激されていました。

第二部午前十一時から大般若法要が始まり、当山と御縁の深い僧侶による転読がなされ、声高らかな経文が堂内に響き渡りました。

住職記

光明寺四季の諷詠（No.52）

衣替え　十首　　恵　華

○すがれゆく　み寺の庭の　六地蔵
　十九夜様の　衣装かがやく
○この年も　庭の佛の　ころもがえ
　早々にして　ありがたし
○山門の　屋根よりながる　冬の陽に
　赤き衣装の　佛かがやく
○墓へ行く　道のあかりが　ともるころ
　淋しさまさる　秋の夕暮れ
○日に三度　在家勤行　十三仏に
　ことばのもつれ　なきをよろこぶ
○この眼鏡　くれといわれて　渡したる
　形見なりて　日々をすごすも
○教え子と　ドングリ拾いの　み社に
　開戦の報を　ききしも
○散る紅葉　残る紅葉も　散る紅葉
　少年兵の　辞世は　忘れじ
○戦争の　悲しみ背負い　九十五
　師走八日は　忘ることなし
○横綱の　不在にあれば　小結の
　優勝となる　大相撲

秩父三十四観音霊場めぐり(3)

去る十月二十六日秩父三十四観音霊場めぐり第三回に行ってまいりました。今回は九ヶ寺をお参り、いつものコースで秩父入り、今回もお天気に恵まれ、特に二十八番橋立堂は秩父の山間に有り、清々しい雰囲気と、迫ってくる、岩山に圧倒されました。すぐ傍の土津園で、美味しいお蕎麦を頂き次の札所へ向かいました。巡礼は、供養（祈願）、景色、食事を一度に行える素晴らしい修行だなとつくづく思いました。

謹賀新年

明けましておめでとうございます。
昨年は大変お世話になりました。
本年も宜しくお願い申し上げます。

◇お寺から◇

住職記

◎当山の西側駐車場購入の件。宝珠堂が借りていました西駐車場（砂利）を檀信徒専用駐車場として購入いたしました（専ら檀信徒の利用が多い為）

◎御詠歌講員募集中。ご先祖様への供養になり、声を出して、左手に鈴を持ち、右手に撞木持って鉦を打つので、ボケ防止にはもってこいです。初心の皆様、懇切丁寧にご指導致します。毎月第一、第三金曜日午後一時から午後三時までの二時間です。

◎第四回秩父巡礼（結願）五月十五日（水）日帰りです。皆様のご参加お待ちしております。

◎永代供養、樹木葬、境内墓地、光明の里（上横倉）、ご希望の方ご連絡ください。
〇二八―六六五―〇五四五 光明寺まで

◎ラジオ体操毎日朝六時半から山門前で行っています。ご近所の皆さんお時間がありましたらお越し下さい。現在約十名の方が毎日来ています。